



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 遠藤 嘉一

幹事 佐藤 政司

SAA 丹野富二男

会報小委員長 釣巻 穰

○例会日 毎週水曜日 (12:30 ~ 13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒 974 - 8261 ホテルミドリ内
TEL0246 - 62 - 3737

2009 ~ 2010 年国際ロータリーのテーマ

第 2345 回 例会 平成 22 年 1 月 20 日 (水・晴)

ゲスト

東洋システム株式会社

代表取締役社長 庄司 秀樹 様

ロータリーソング

— 今月はロータリー理解推進月間です —

4 つのテスト

清水 信弘 会員



◎ 会長報告 - 遠藤会長

皆様、今日は。まず、最初に本日のゲストをご紹介致します。東洋システム株式会社代表取締役社長庄司秀樹様です。世界で今一番輝いている最も忙しい方だと思います。「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」の日本代表で今日はお忙しい所御出で下さいました。後程貴重な卓話を頂戴することになっておりますので宜しくお願いします。今日は地震について少しお話しします。1月17日の日曜日は15年前の阪神淡路大震災の日でした。日本の近代都市としての地震では1番大きなものでした。被害は、死者6,434名、家屋全壊10万戸、半壊14万戸、死者の83%は倒壊家屋の下敷となりました。毎日神戸の商店街が燃えているさまをテレビで見て何ともやり切れない悲しい気持ちになりました。折りしも先週の例会の朝、ハイチで大地震が発生しました。カリブ海の小さな国です。首都ポルトープランスの真下の活断層が震源地のようです。通信網が途絶えており、一切詳しいことは判りませんが、死者の数が5万人とも20万人とも言われております。日本での大地震で記録に残っているのは、関東大震災で1923年(大正12年)9月1日午前11時58分に発生しました。その為9月1日は防災の日になっています。マグニチュード7.9(推定)震度は6位ですが、当時の家屋を破壊するには十分です。また、木造ですので火災が数多く発生したのも被害が拡大した原因です。死者不明者14万2,802人、全壊全焼をあわせ約60万戸が失われました。私が経験した最大の地震は、昭和21年12月21日に発生した南海道地震です。3分間位長い揺れが続いた地震で生きた心地がしませんでした。このいわき常磐沖も地震の多発する地域で、地震の巣です。しかし、幸い大きな地震はなく被害を受けておりません。災害は忘れた頃にやってくると言いますが、世界中で立て続けに起きています。スマトラ沖や中国での地震も最近の出来事です。私も気にし

ているが実際は何もやってはおりません。いつ来るか判りませんので皆様も対策はやっておいた方がよろしいかと思ひます。話は変わりますが、後藤泰治会員へ米山功労者メジャードナーの表彰状が届いております。前の方へどうぞ。



◎ 幹事報告 - 佐藤政司 幹事

- ・ インターシティミーティングに現在 20 名出席予定です。
- ・ 北茨城 R C 創立 35 周年へは 8 名出席予定になっております。ミドリさんに 10 時集合をお願いします。
- ・ 2 月 2 日に市民会館で献血を行うそうですので、69 歳まで希望の方は私へ申し込んで下さい。
- ・ 来週は夜の例会になりますので多数の出席をお願いします。

◎ 各委員会報告

◇ 出席委員会

— 越田和副委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

◇ スマイルボックス委員会 - 川口小委員長

- ・ 東洋システム(株)代表取締役社長 庄司秀樹様の卓話を歓迎致して。後藤、神白、児玉、白土、高萩、高木、生駒、渡邊(公)、佐藤(英)、峯口、猪俣、金成、富岡、根本(雄)、山下、清水、鈴木各会員及び遠藤会長、赤津副会長、鈴木(修)会長エレクト



・ 前回欠席ごめんなさい。今年も宜しくお願いします。

本間、川口、佐藤(英)、渡辺(勉)、船橋各会員・出席奨励賞ありがとうございました。本間会員・本日早退ごめんなさい。松崎、安斎各会員

◎ ゲスト卓話者紹介 - 鈴木修一郎 会長エレクト

本来ならご紹介は鈴木雅之副幹事の前で予定でしたが、福島大学へ行って不在ですので、私が、代わりに原稿を代読します。本日の卓話ゲストは、東洋システム株式会社代表取締役社長の庄司秀樹様です。皆様は、庄司社長をご存じかと思いますが改めてご紹介いたします。昨年、2009 年を代表する起業家を表彰する「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー」の日本代表に東洋システム(株)が選ばれ、今年 6 月にモナコで開催される世界大会へ参加することになっております。この制度は、新たな事業に挑戦し、成功している起業家を表彰する制度で、これまでアメリカ代表には、デルコンピュータ、アマゾンドットコム、スターバックスなどのそうそうたる企業が名を連ねております。庄司様の会社は充電電池の開発に必要な検査機器を開発、製造する企業で、ハイブリットカーの開発にも大きく貢献しております。創業から現在に至るまでの道のりは決して平坦なものではなかったと聞いております。本日はこれまでのエピソード等を交えてお話を頂戴したいと存じます。

◎ ゲスト卓話

東洋システム株式会社

代表取締役社長 庄司 秀樹様 皆様、今日は。本日はロータリークラブへお招きありがとうございます。私はもともと常磐共同火力のアパートで育ち、ずっといわきにいました。故郷であるいわきで創業した訳ですが、ご紹介が



あった通り「アントレプレナー」という映えある賞を戴きました。自分で受賞して逃げ出したいのが現在の心境です。世界的に見てこの「アントレプレナー」は大変栄誉のある賞で、世界各国の代表もそうそうたる企業が名を連ねています。この賞を良く解かっているのは日本だけのようです。デルコンピュータ、スターバックス等先程紹介された企業が受賞する賞です。私はそんな事を全く知らずに 20 年仕事をやって来ましたが、会計監査の先生から「大変な時期もあったが今は何とか軌道に乗って来たと、社会貢献度も高いので出てみないか。」と言われ沢山の書類を作成しました。東北大会で選出され、さらに東京で大学のベンチャービジネスのトップや経済産業省の参事官さん等厳しい目を持った皆さんの審査を受けました。私は余り上がる事が無いのですが大変緊張して何を言ったか憶えていません。代表審査には携帯電話の手ブレ防止のソフト会社、癌の末期治療の薬品、化粧のベース世界シェア 80% の会社、ニトリ等が残っていて入賞出来ればと思っておりましたら日本代表に選ばれてしまいました。私が思うに日本は世界の国々の人々の為に物凄く貢献度が高く素晴らしい国です。素晴らしい国にも拘らずバッシングされたり無視されたりされる状況になっていきます。特に環境分野では日本の技術が無くてはならな

い物になっています。6 月モナコへ行って来ますが、その辺の所を世界中の国や企業に再認識して戴き、経済活性化出来ればと思っております。私の父は常磐共同火力さんに勤務していました。小六の時、ラジオを買ってもらい組立てましたら、モスクワ放送、北海道九州の放送、訳の解からない英語の放送が受信出来て、物凄く感激をして自分は必ず電機の技術者になるぞと決めました。その後無線の免許を取り無線機を手に入れました。今の携帯より大きく手に持てるサイズでした。今で言うオタク的なものでしたので理科と数学は成績が良く、国、社、英は全くダメでした。勿来工業電子科へ入り、卒業後は電機メーカー大手日立へ入社しました。最初に言われたのは「君達高卒は部品でいくらでも替えがある。有給を取る人間から給料下げるぞ。」と言われショックを受けました。そして里心がつき、いわきに戻り計測器の販売店に入りました。その頃 N T T からショルダー電話が発売になりました。なぜこんなに大きいのかと考え N T T に聞くと半導体や電池の性能が悪いといわれ、古河電池に聞くと電池は生ものだから長持ちさせる技術が大事で計測する機器があれば我々の技術は進むと言われた。そこで電池を計測する装置を作ろうとこの業界に入りました。二次電池は皆さんが持つ携帯電話、ビデオカメラ、ノートパソコンなどで充電して何度も使えます。その検査装置です。トヨタのプリウス、ホンダのインサイト等もそうですが、二次電池は大きなエネルギーを小さな箱の中に入れるのである意味爆弾に近いのです。しかし、その物をより安全に絶対事故を起こさないように、安全試験装置を作っているのが当社です。当社の設立時は山あり谷ありで誰も話を聞いてくれず、誰もお金を貸してくれませんでした。でも、どうしてもやりたいという気持ちで金融機関を回りどうにか融資して戴き設立に漕ぎ着けました。その間半年位かかりました。そのスタートアップで苦労したことには今では感謝しております。ベンチャー企業の育成でお金を出せば良いんだとか企業を支援すると言いますが、あれをやって大体失敗するのは、お金は簡単に入るものだと勘違いしてしまうからです。ビジネスモデルや技術があればお金が入ると思っしまい、少しビジネスが良くなると借りたお金を返すとか社会貢献をするという認識よりも私利私欲に固まりおかしくなるのが殆どじゃないかと思ひます。その当時の皆様からのご指導とご助言に大変感謝しております。その後いろいろありました。世界に名の通ったメーカーが田舎の当社に来て「お宅の作った機械は凄いな。1 台 300 万の機械を 100 台買うから図面を見せろ。」と言い写真を撮って図面を持って行きましたが注文が来ません。おかしいと思ひ連絡をとりましたら「そちらの会社は中小企業でまだ若いから信用できない。他の一流企業に図面を持って行って他で作ることになった。」と言われ愕然とし、頭が真白くなって世の中誰も信じられないという気持ちになりました。ようし彼らがそんな裏切り行為をして来るなら、彼らが発売する前に倍の性能で半分のコストの装置を出してやろうと仲間と狂ったように研究をしました。そんな事が何度もあり、その度波を乗り越えて生き残って来ましたが。

出席状況

正会員数 55 名
本日の出席率 80.00%